

企画展

紫式部と

祈りの世界

2024. 4/27(土) ▶ 5/19(日)

[開館時間] 9:00~17:00 (入場は16:30まで) [休館日] 4/30(火)、5/7(火)、5/13(月)
[会場] 企画展示室B
[観覧料] 一般 330円(260円)/高校生・大学生 240円(190円)/小学生・中学生 160円(130円)

あわせて特集展示「源氏物語と大津」もご観覧いただけます。

※()内は15名以上の団体料金。
※大津市内在住の65歳以上の方は、小中学生と同額(証明できるものをご提示ください)。
※大津市内在住の障がい者の方、介護保険の要介護者及び要支援者の方とその介護者1名は無料(証明できるものをご提示ください)。



大津市歴史博物館
OTSU CITY MUSEUM OF HISTORY



〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2-2 TEL 077-521-2100
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

背景：(左)国宝 金銀鍍宝相華文経箱 長元4年(1031) 比叡山延暦寺蔵/(中央)紫式部聖像 室町時代 石山寺蔵/(右)国宝 金銅藤原道長経筒 伴延助作 寛弘4年(1007) 金峯神社蔵



大津市指定文化財 木造阿弥陀如来坐像
平安時代(12世紀) 華開寺蔵



重要文化財 紺紙金銀交書法華經
平安時代(11世紀) 比叡山延暦寺蔵



重要文化財 木造聖観音立像
平安時代(10~11世紀) 西教寺蔵

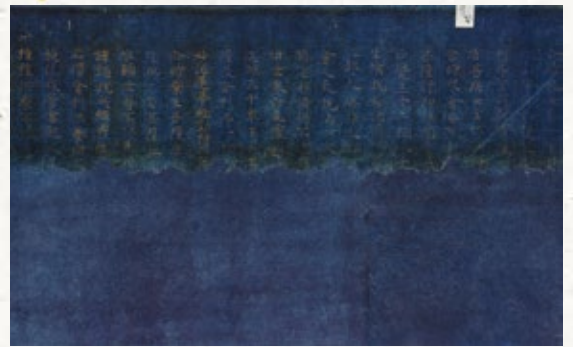
紫式部と 祈りの世界

企画展

紫式部が生きた平安時代は、藤原道長(九六六〜一〇二七)に代表される撰閲家が栄華を誇っていた一方で、天災や戦乱、飢饉、疫病が流行しました。そのため、人々は現世利益を求めて観音巡礼を行い、また、末法思想の広まりから浄土信仰へと傾倒していく時代でもありました。本展示では、石山寺に伝わる紫式部聖像と、紫式部が仕えた藤原道長、彰子(上東門院、九八八〜一〇七四)親子によって制作された埋経の遺品を一堂に展示します。それらと共に、同時代に制作された仏教美術を展示し、紫式部が生きた時代の仏教文化を紹介します。



重要文化財 木造聖観音坐像
平安時代(10世紀) 満月寺蔵



重要文化財 紺紙金字法華経巻残闕(大和国金峯山経塚出土品)
長徳4年(998)頃 金峯神社蔵



重要文化財 木造聖観音立像
平安時代(10~11世紀) 兼念寺蔵

同時開催

特集展示

「源氏物語と大津」開催中!

[会期] 2025.2/2(日)まで
[会場] 本館 常設展示室・ロビー

※本展観覧券でご覧いただけます。

講演会

4/27(土)

「祈りと救済の絵画 ―平安時代の女性と仏教―
講師 山本聡美 氏(早稲田大学文学学術院 教授)

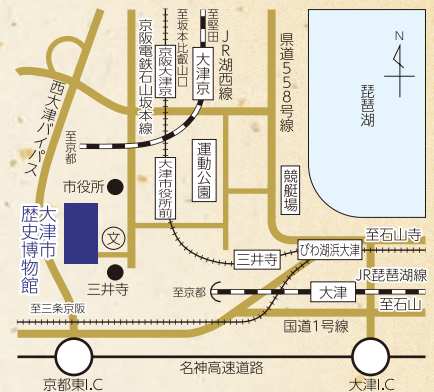
5/10(金)

「藤原氏の栄華 ―道長の経筒・彰子の経箱―
講師 宮川禎一 氏(京都国立博物館 特任研究員)

5/17(金)

「日本仏教の中の女性たち ―比丘尼戒壇をめぐる―
講師 大谷由香 氏(龍谷大学文学部 特任准教授)

- 本館講堂で行います。定員100名。 ●各回14:00から15:30まで。
- 事前申込制。申込方法など詳細はHPまたは当館までお問い合わせください。



大津市歴史博物館

OTSU CITY MUSEUM OF HISTORY

無料駐車場(乗用車約60台)

- アクセス ●京阪電鉄 石山坂本線 「大津市役所前」 駅下車徒歩約5分
- JR 湖西線「大津京」 駅下車徒歩約15分